

Doboku information



令和6年度 定時総会開催

実施日：令和6年5月27日(月)

当会は5月27日(月)、港区元赤坂の明治記念館「曙の間」において、令和6年度定時総会を開催。議決事項として、令和5年度事業報告・決算報告、並びに令和6年度事業計画(案)・収支予算(案)がそれぞれ承認された。また議事終了後、優良技術者表彰式(詳細はP10に掲載)を執り行った。



第1号議案 令和5年度事業報告並びに同決算報告に関する件

1 技術力向上に関する支援事業

(1) 各種研修会・講習会等の実施

若手技術者の育成や会員技術者の技術力向上のための研修会・講習会を全18回開催した。

① 若手技術者のための支援

- 建設業新入社員研修会(共催)
4月5日・6日 **ハイブリッド**
- 新入社員半年フォロー研修会(共催)
【第1回】10月24日 【第2回】10月30日
- 若手技術者(3年次～5年次)
フォロー研修会(共催) 11月15日

③ 基礎的な技能習得のための支援

- 原価管理講習会 5月17日
- 安全管理講習会 7月13日 **オンライン**
- コンクリート施工技術講習会(共催) 7月27日
- 仮設構造物(土留め工)の設計・施工講習会 9月 7日
- 環境管理講習会 11月14日

② 1級土木施工管理技士資格取得のための支援

- 第一次検定試験 受験準備講習会(共催)
6月7日・8日
- 第二次検定試験 受験準備講習会(共催)
8月31日～10月1日 **オンデマンド配信**

④ 総合的な技能習得のための支援

- 現場代理人の折衝力強化研修会(共催) 6月27日 **オンライン**
- 道路橋における維持管理の基礎セミナー 8月30日 **オンライン**
- 工事成績評定アップ対策のポイントセミナー 10月26日 **オンライン**
- 積算講習会 11月 8日
- 現場の生産性を高める
コミュニケーションセミナー 12月19日
- 現場の失敗事例に学ぶ施工管理セミナー 1月18日
- コンクリート維持管理技術講習会(上級編) 2月 2日

(2) 土木工事現場の視察

- R2国道246渋谷駅周辺地下道工事 7月 7日 **オンライン**
- 境川金森調節池工事その2 9月 5日

(3) 異業種他分野等各種施設の視察

- NTT中央研修センター「NTT e-city Labo」 10月13日



令和6年度 定時総会開催

2 関係法令・制度・行政施策等の情報提供

官公庁による法改正や入札契約に関する概要解説の各種説明会を4回開催した。

(1) 法改正等に伴う説明会の実施

- 建設業の取引適正化に関する説明会〔共催〕 10月31日 [オンライン](#)
- 盛土規制法に係る説明会〔東京都主催〕 2月 8日 [オンライン](#)

(2) 入札契約に関する説明会の実施

- 関東地方整備局 入札・契約制度に関する説明会〔共催〕 6月13日～30日 [オンデマンド配信](#)
- 東京都 入札・契約制度に関する説明会〔共催〕 8月 7日 [オンライン](#)

3 広報事業

(1) 若年者への魅力ある建設業のPR事業

若者への建設業のPRと会員企業の人材確保の一助となるよう主に大学生を対象にインターンシップと業界研究のイベントを東京建設業協会と共催し、本イベントの一環として、就職活動をする学生の動向やインターンシップの重要性などについて採用担当者向けに説明会を開催した。

- 採用担当者向けセミナー〔共催〕 7月19日 [オンライン](#)
- みんなの建設業☆インターンシップ&業界研究フェスタ〔共催〕 8月 2日・3日 [オンライン説明会](#)
8月21日～2月24日 [オンデマンド配信](#)

(2) 一般向けの理解促進に関する事業

- 東京湾アクアライン海ほたる裏側探検 12月22日

(3) 機関誌「DOBOKU 技士会 東京」の発行

機関誌「DOBOKU 技士会 東京」を年4回発行し、会員及び関係行政機関・建設関係団体等に配布した。

- 第93号(令和5年4月) ● 第94号(令和5年7月) ● 第95号(令和5年10月) ● 第96号(令和6年1月)

(4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

講習会・見学会の開催案内の発信をはじめ、ホームページやメール、機関誌を活用して情報を提供し、利便性の向上に努めた。

4 調査研究

講習会で使用するテキストの作成及び研究をはじめ、講習会受講者アンケートや現場見学会受入れ調査などを実施した。

- 現場見学受入れ先調査
- 事業運営に必要な各種調査の実施

5 表彰

- 優良技術者表彰の実施 会員から推薦された優良技術者152名を表彰した。
- 各種表彰候補者の推薦 優良技術者表彰の中から12名を(一社)全国土木施工管理技士会連合会が行う表彰に推薦した。

6 連絡協議

(1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

関係行政機関・建設関係団体をはじめ、各地方技士会、(一社)東京建設業協会等と随時情報交換を行った。

7 会議

(1) 総会

【定時総会】5月29日
議決事項

- 令和4年度事業報告並びに同決算報告に関する件
 - 令和5年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)に関する件
- 【優良技術者表彰】152名

(2) 理事会

【第1回 理事会】 5月29日 ①令和4年度事業報告並びに同決算報告に関する件 ②副会長選任に関する件

【第2回 理事会】 3月21日 ①令和6年度事業計画(案)に関する件 ②令和6年度収支予算(案)に関する件

(3) 監事会 4月18日 ①令和4年度事業報告に関する件 ②令和4年度決算報告に関する件

8 委員会

(1) 総務委員会

【第1回 総務委員会】 12月20日

- ① 令和5年度会員の異動状況と収入状況について
- ② 令和5年度事業の実施状況について
- ③ 令和5年度事業の今後の予定について

【第2回 総務委員会】 3月13日

- ① 令和6年度事業計画(案)について
- ② 令和6年度収支予算(案)について

(2) 事業運営委員会

【第1回 事業運営委員会】 12月6日

- ① 令和5年度事業の実施状況について
- ② 今後の事業予定について
- ③ 優良技術者表彰について

【「日本航空安全啓発センター」視察】 1月25日

事業運営委員会委員による視察会を実施。安全への取組み、確認の重要性、さらには命の尊さを考え、あらためて安全意識が高まる機会となることを目的に、JAL メンテナンスセンター施設内の日本航空安全啓発センター(大田区)を視察した。

【第2回 事業運営委員会】 3月5日

- ① 令和6年度事業計画(案)について
- ② 令和6年度優良技術者表彰について

【講習会グループ会議】 11月30日、2月21日

令和5年度講習会事業の実施状況、令和6年度講習会事業(案)などを協議するため開催した。

【現場視察グループ会議】 2月28日

令和6年度の現場見学会候補地を選定、協議するため開催した。

【情報・広報グループ会議】 6月21日、10月17日、2月7日

令和5年度事業の機関誌「DOBOKU技士会東京」発行、合同企業説明会、異業種他分野各種施設見学会及び一般向け土木施設見学会候補地を協議するほか、令和6年度の事業計画(案)を協議するため開催した。

事業運営は「講習会」「現場視察」「情報・広報」3つのグループ会議にて企画から検討のうえ実施

令和5年度収支報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位：円)

勘定科目 大科目	予算額	決算額	差異
会費収入	34,000,000	33,864,000	136,000
入会金収入	150,000	99,000	51,000
事業収入	4,700,000	6,047,420	△ 1,347,420
雑収入	100,000	42,717	57,283
当期収入合計(A)	38,950,000	40,053,137	△ 1,103,137
前期繰越収支差額	13,780,000	13,542,835	237,165
収入合計(B)	52,730,000	53,595,972	△ 865,972

II. 支出の部

(単位：円)

勘定科目 大科目	予算額	決算額	差異
事業費	30,330,000	30,210,066	119,934
管理費	9,840,000	9,460,906	379,094
引当預金支出	400,000	400,000	0
積立預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予備費	500,000	50,000	450,000
当期支出合計(C)	42,070,000	41,120,972	949,028
当期収支差額 (A) - (C)	△ 3,120,000	△ 1,067,835	△ 2,052,165
次期繰越収支差額 (B) - (C)	10,660,000	12,475,000	△ 1,815,000



令和6年度 定時総会開催

第2号議案 令和6年度事業計画並びに同収支予算に関する件

1 技術力向上に関する支援事業

- (1) 各種研修会・講習会の実施
 - ① 若年技術者のための支援(共催) 4回
 - ② 1級土木施工管理技士資格取得のための支援(共催) 2回
 - ③ 基礎的な技能習得のための支援 7回
 - ④ 総合的な技能習得のための支援 7回
- (2) 土木工事現場の視察 3回
- (3) 異業種他分野等各種施設の視察 1回

2 関係法令・制度・行政施策等の情報提供

- (1) 法改正等に伴う説明会の実施
- (2) 入札契約に関する説明会の実施

3 広報事業

- (1) 若年者への魅力ある建設業のPR事業
- (2) 一般向けの理解促進に関する事業
- (3) 機関誌「DOBOKU技士会 東京」の発行(年4回)
- (4) 土木施工管理に関する情報収集及び提供

4 調査研究

- (1) 現場見学受入れ先調査
- (2) 事業運営に必要な各種調査の実施

5 表彰

- (1) 優良技術者表彰の実施
- (2) 各種表彰候補者の推薦

6 連絡協議

- (1) 関係行政機関・関係団体との連絡協議

7 会議

- (1) 総会
 - ① 定時総会
 - ② 臨時総会
- (2) 理事会
- (3) 監事会

8 委員会

- (1) 総務委員会
- (2) 事業運営委員会
 - ① 講習会グループ会議
 - ② 現場視察グループ会議
 - ③ 情報・広報グループ会議

令和6年度収支予算

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位：円)

勘定科目 大科目	令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	増減
会費収入	34,400,000	34,000,000	400,000
入会金収入	150,000	150,000	0
事業収入	6,000,000	4,700,000	1,300,000
雑収入	100,000	100,000	0
当期収入合計(A)	40,650,000	38,950,000	1,700,000
前期繰越収支差額	12,240,000	13,780,000	△ 1,540,000
収入合計(B)	52,890,000	52,730,000	160,000

II. 支出の部

(単位：円)

勘定科目 大科目	令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	増減
事業費	31,070,000	30,330,000	740,000
管理費	10,240,000	9,840,000	400,000
引当預金支出	400,000	400,000	0
積立預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予備費	500,000	500,000	0
当期支出合計(C)	43,210,000	42,070,000	1,140,000
当期収支差額 (A) - (C)	△ 2,560,000	△ 3,120,000	560,000
次期繰越収支差額 (B) - (C)	9,680,000	10,660,000	△ 980,000

講演会

定時総会閉会后、会場を「末広の間」に移して行われた講演会では、国際的なレスキュー隊員として世界各国の災害現場で救助活動を行っているサニーカミヤ氏が講師として登場。建設現場での作業中に自然災害が発生した場合の心構えなどを説いた。

建設会社が知っておくべき 「工事現場の防災知識」

～会社の「事業と財産」、社員の「生命・身体・生活」を守るための初動対応ポイント～

首都直下型地震がいつ起きてもおかしくないと言われる東京において、工事現場で働く社員や協力会社作業員の生命と安全を預かる立場にある建設会社は、日ごろからどのような被災状況を想定し、どんな対策を講じるべきなのか。数えきれないほどの災害現場で救えた命・救えなかった命を目の当たりにしてきたカミヤ氏が、「起きてからでは遅すぎる」「まず自分が助からないと他の人も助けられないこと」「日常の中でもできること、知れることがたくさんあること」などについて、熱弁をふるった。

■ 大地震に対して、今の自分はどれだけの準備ができていますか

「現在勤務中の現場で土木工事中に震度6弱、M7の大規模地震が発生したら、どんなリスクがあり、負傷者の確認や救助をどうやって行うか?」をテーマに、発災した季節や時間帯によって対処法が異なることなどを参加者同士で意見交換し、互いの現状を確認し合った。また、現場の防災対応では「想定内を増やし、想定外を減ら



防災対応におけるポイントを説明する
サニーカミヤ氏

講師

サニーカミヤ 氏

一般社団法人
日本防災教育訓練センター 代表理事



元福岡市消防局消防吏員、レスキュー隊員、ニューヨーク州救急隊員、元国際緊急援助隊隊員、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事、教戒師、危機管理コンサルタント、防災アドバイザー。

国際レスキュー隊として通算34か国・約5000件の災害現場救助活動と消防・防災事情を調査。人命救助数は1500名を超える。日本国内200社以上の大企業、約100以上の市町村で防災教育講演を行い、防災意識の向上やBCP、パワハラ防止について啓発している。

す」「空振りは許されても見逃しは許されない」ことが重要、などの原則が示された。

■ 地震以外にもこれだけある「災害」

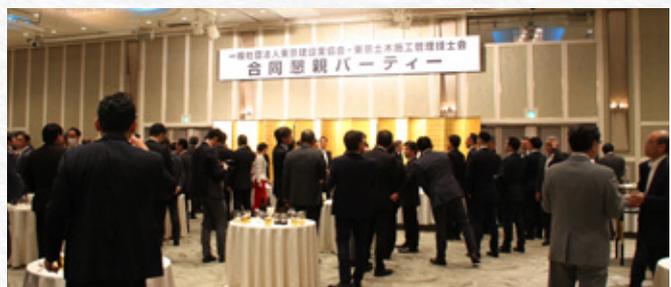
災害大国・日本では、地震以外にも台風、豪雨、水害、噴火など様々な災害に見舞われる可能性がある。各地区のハザードマップや「キキクル」「通れた道マップ」といった情報を得られる手段を知っておくこと、「予知力・予測力・予防力・予見力」の四つの力(知測防見)を日常から意識することにより被害を最小限にとどめられる、といった見識が披露され、受講者も真剣に聞き入っていた。

(一社)東京建設業協会・東京土木施工管理技士会 合同懇親パーティー

定時総会・講演会の終了後、2階「富士の間」にて(一社)東京建設業協会と合同の懇親パーティーが行われた。はじめに主催者代表として同協会の今井雅則会長よりご挨拶が述べられ、続いて新正副会長の紹介により、当会の清水琢三新会長を紹介、次いで、任期満了に伴い退任する寺田光宏会長らの一言があり、さ

らに小池百合子東京都知事、丸川珠代参議院議員・自由民主党東京都支部連合会会長代行、生稲晃子参議院議員、都議会各党派、東京都より花井徹夫建設局長ら来賓からの祝辞を賜った。

パーティーは、各会員の歓談する姿が見られ大盛況で幕を閉じた。





総会 会長挨拶



定時総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。
会員の皆さまには、ご多忙のところ ご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より、当会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、日米の政策金利差などから長期的な円安傾向が続いており、4月末(29日)には一時34年ぶりとなる1ドル160円を突破、原材料や燃料価格など輸入物価の上昇が危惧されます。

また、5月22日には長期金利の指標となる10年物国債の利回りが11年ぶりに1%まで上昇、企業向け融資の金利上昇により、設備投資が抑えられるなどのマイナスの影響が懸念されるところでございます。

これらに加えて、4月1日から建設業に適用となった時間外労働の上限規制への対応など、建設企業の経営や現場の運営は様々な課題に直面しており、会員の皆様の御苦勞も多いかと存じます。

一方、本年元日に発生した能登半島地震による被災地の復旧・復興は、まだまだ道半ばであります。

また、近年頻発化、激甚化する豪雨災害などから国民の生命と財産を守るため、国土強靱化に向けた対策は待ったなしの状況となっており、我々土木技術者の責務は大変重いものがあると感じております。

当会では、会員の皆様が、その重責を果たし、多くの人々の安全かつ豊かな暮らしを支える「都市基盤整備」に寄与できますよう、今年度の事業においても、技術力向上に資する各種講習会や現場見学会の実施を計画しております。また、関係団体と連携して、法令の改正や入札・契約制度に関する説明会なども開催してまいります。さらに、将来を担う若者たちに向けた建設業の魅力の発信や、インフラツーリズムなどの広報活動にも努めてまいります。会員の皆様には、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、本日は「令和5年度の事業報告と決算報告」「令和6年度の事業計画と予算」、さらには、「任期满了に伴う役員改選」についてご審議いただいたのち、優良技術者の方々の永年にわたるご功績を称え「表彰式」を執り行います。

また、総会終了後には、講演会と懇親パーティーも予定しておりますので、長時間にわたりますが、本日の行事が円滑に進行できますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。

東京土木施工管理技士会 会長 てらだみつひろ 寺田 光宏

新役員紹介



会長

しみず たくぞう
清水 琢三

五洋建設株式会社



副会長

きよほら けいた
清原 啓太

戸田建設株式会社



副会長

さいとう たけふみ
齊藤 武文

清水建設株式会社

新役員名簿

役 職	氏 名	所 属 会 社
会 長(理事)	清水 琢三	五洋建設株式会社
副会長(理事)	清原 啓太	戸田建設株式会社
副会長(理事)	齊藤 武文	清水建設株式会社
理 事	大田 正俊	あおみ建設株式会社
理 事	藤本 明生	株式会社安藤・間
理 事	大信田 秀治	オリエンタル白石株式会社
理 事	吉弘 英光	鹿島建設株式会社
理 事	小酒井 聡	株木建設株式会社
理 事	中山 猛	株式会社熊谷組
理 事	小川 典男	坂田建設株式会社
理 事	三澤 早登志	佐藤工業株式会社
理 事	坂本 明伸	大成建設株式会社
理 事	岩崎 延宏	大豊建設株式会社
理 事	白井 稔久	鉄建建設株式会社
理 事	山本 博司	東急建設株式会社
理 事	藤井 広記	東洋建設株式会社
理 事	築地 功	飛島建設株式会社
理 事	杉山 薫	株式会社ナカノドー建設
理 事	難波 正和	西松建設株式会社
理 事	澁谷 博志	日本道路株式会社
理 事	林 清一	林建設株式会社
理 事	篠原 博	株式会社フジタ
理 事	小島 靖雅	前田建設工業株式会社
理 事	大場 聡	三井住友建設株式会社
理 事	相良 宏介	みらい建設工業株式会社
理 事	坂田 真一	個人会員
監 事	芦澤 常幸	ショーボンド建設株式会社
監 事	福岳 雄一郎	常盤工業株式会社
監 事	榎内 浩行	三井住建道路株式会社
常務理事	市川 光一	一般社団法人東京建設業協会



令和6年度 定時総会開催

表彰式

定時総会議事終了後、優良技術者表彰式を執り行った。受賞者【技術者表彰規程 第2条第2項該当者】112名、【技術者表彰規程 第2条第4項該当者】12名、【技術者表彰規程 第2条第5項該当者】5名を代表して、第2条第2項受賞者 大成建設株式会社 片山理志 氏に、寺田会長より賞状と記念品が授与された。



寺田会長から彰状を受け取る片山氏



代表受賞者の片山理志氏

令和6年度優良技術者表彰受賞者

【技術者表彰規程 第2条第2項該当者】112名

国・地方公共団体等が発注した工事で、当該団体から優良工事として表彰を受けた工事に、現場代理人、監理技術者等の立場で業務に従事し、特に優秀な成績をあげ、他の模範となる者

(氏名五十音順)

相内 弘人	株式会社竹中土木	江崎 秀一	建装工業株式会社	木下 雄太	東急建設株式会社
秋谷 信幸	株式会社安藤・間	江澤 和也	日本道路株式会社	木舟 仁士	共立建設株式会社
阿久津 健次	大林道路株式会社	江原 泰平	ショーボンド建設株式会社	木村 亮	みらい建設工業株式会社
麻和 大輝	株式会社NIPPO	大池 幸史	ショーボンド建設株式会社	串田 拓也	大林道路株式会社
阿部 能和	ショーボンド建設株式会社	大内 猛幹	西松建設株式会社	鯨岡 俊樹	成友興業株式会社
家上 幹雄	東鉄工業株式会社	大槻 貴志	東洋建設株式会社	工藤 匠	株式会社大本組
井口 直道	株式会社ニューテック康和	大幡 昌教	株式会社NIPPO	小池 大祐	成友興業株式会社
池田 隆幸	フジタ道路株式会社	小笹 文彦	鹿島建設株式会社	小泉 潤	フジタ道路株式会社
石川 玄	共立建設株式会社	落合 太郎	東鉄工業株式会社	小泉 毅	日本国土開発株式会社
石田 将太郎	大林道路株式会社	乙部 俊也	日瀝道路株式会社	小泉 博之	東亜建設工業株式会社
石田 宏	株式会社安藤・間	寛 哲志	西松建設株式会社	木暮 匠倫	五洋建設株式会社
伊藤 毅	日鋪建設株式会社	片山 理志	大成建設株式会社	小嶋 寛人	共立建設株式会社
今井 裕也	戸田建設株式会社	金子 英敏	日瀝道路株式会社	小杉 英信	大林道路株式会社
上野 亨	日瀝道路株式会社	加茂 政彦	フジタ道路株式会社	五戸 一貴	東急建設株式会社
氏家 誠	東洋建設株式会社	菊地 辰彦	常盤工業株式会社	才津 陽平	株式会社NIPPO
内田 勝弘	株式会社ピーエス三菱	菊池 智洋	株式会社富士土木	酒井 悟志	東鉄工業株式会社

堺 隆大	株式会社ニューテック康和	飛田 和則	株木建設株式会社	樋口 祐也	大豊建設株式会社
坂井 貴博	大林道路株式会社	富田 拓	フジタ道路株式会社	平井 徹	日本道路株式会社
坂田 哲教	東洋建設株式会社	中根 啓吉	株式会社富士土木	深津 勝行	日本道路株式会社
笹本 怜央	五洋建設株式会社	中野 健一	株木建設株式会社	二渡 武	株式会社竹中道路
佐藤 嘉之	株式会社熊谷組	中野 大輔	フジタ道路株式会社	細野 勝己	児玉建設株式会社
清水 敦夫	あおみ建設株式会社	中三川 徹司	日鋪建設株式会社	前島 宏徳	日本道路株式会社
白石 浩	あおみ建設株式会社	中村 康二	株式会社富士土木	前田 達哉	株式会社富士土木
菅澤 敏幸	株式会社富士土木	新山 謙	成友興業株式会社	丸山 博司	大豊建設株式会社
杉石 遥	大林道路株式会社	西岡 誠	日瀝道路株式会社	丸山 勇	株式会社竹中道路
高井 達格	前田建設工業株式会社	西田 隆久	日本国土開発株式会社	水野 雄太	株式会社NIPPO
高磯 祐介	日本道路株式会社	西平 裕佑	日本道路株式会社	三好 武博	あおみ建設株式会社
高橋 晋	大豊建設株式会社	沼里 浩	株木建設株式会社	矢部 勇貴	株式会社NIPPO
達木 宗一郎	常盤工業株式会社	根本 純司	株式会社NIPPO	山内 裕生	株式会社小島組
田中 寿長	東亜建設工業株式会社	萩原 智	株式会社ピーエス三菱	山口 翔平	成友興業株式会社
田中 秀弥	大豊建設株式会社	萩原 佑	ショーボンド建設株式会社	山崎 権吾	日本道路株式会社
田村 佳之	共立建設株式会社	橋本 明宏	東亜建設工業株式会社	山崎 有希人	五洋建設株式会社
塚原 孝	東鉄工業株式会社	長谷川 博一	株木建設株式会社	山下 貴弘	日本道路株式会社
月野木 雄一	あおみ建設株式会社	花田 正乃利	日本道路株式会社	山田 大	株式会社竹中土木
附田 恭吾	フジタ道路株式会社	馬場 重之	東洋建設株式会社	山本 明	あおみ建設株式会社
津島 史人	東急建設株式会社	早野 智博	日本道路株式会社	吉田 政史	清水建設株式会社
角田 憲明	あおみ建設株式会社	原田 透	株式会社竹中土木	若山 秀幸	五洋建設株式会社
戸田 典利	東鉄工業株式会社				

【技術者表彰規程 第2条第4項該当者】13名

土木施工技術に関する発明、実用新案、新技術の開発及び論文等に対し公的機関から表彰された者

(氏名五十音順)

生信 将雄	株式会社大本組	椎名 貴快	西松建設株式会社
大瀧 真道	鹿島建設株式会社	菅沼 優巳	株式会社竹中土木
小野 純一	株式会社大本組	富田 佑一	東急建設株式会社
勝部 峻太郎	飛島建設株式会社	平間 昭信	飛島建設株式会社
金子 泰明	飛島建設株式会社	森 守正	株式会社竹中土木
菊池 玲児	株式会社NIPPO	吉田 健太郎	鹿島建設株式会社
榊原 高範	株式会社大本組		

【技術者表彰規程 第2条第5項該当者】3名

土木施工管理技術を活かして災害復旧作業や調査等のボランティア活動に参加し公的機関等から表彰状、感謝状を受けた者、または個人として上記活動に参加した者

(氏名五十音順)

五十嵐 善行	前田建設工業株式会社	墨林 誠	林建設株式会社
新川 健二	鹿島建設株式会社		